

# 2020年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2020年1月31日

## 伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部：8133)

## ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記の通り表記を置き換えております。  
「営業活動に係る利益」 ⇒ 「営業利益」  
「当社株主に帰属する当期純利益」 ⇒ 「当期純利益」

# 2020年3月期 第3四半期決算/サマリー

## 当期純利益は第3Qの過去最高益を更新！

(億円)	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減	20年3月期 通期計画	進捗率
売上収益	7,506	6,711	△ 795	10,000	67%
売上総利益	622	637	+ 15		
販管費	▲491	▲499	△ 8		
営業利益	133	152	+ 20	165	92%
持分法による投資損益	9	14	+ 5		
当期純利益	78	93	+ 15	118	79%
配当 (円/株)	—	—	—	42	—
ROE (%)	—	—	—	9%以上	—

- 「当期純利益」は、前年比18.8%・15億円増加となり、第3Qの過去最高益更新。  
電力・ユーティリティ事業が、大幅増益により利益を牽引。
- 「営業利益」「税前利益」でも、第3Qの過去最高益を更新。
- 「売上総利益に対する販管費率」は、78.3%と、引続き適切に経費をコントロール。

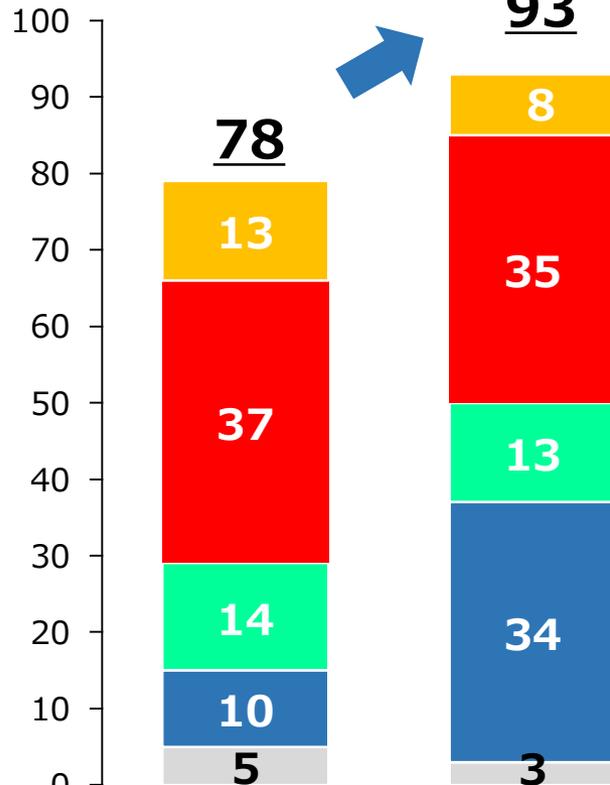
# セグメント別 当期純利益

## 電力・ユーティリティが大幅増益により、利益を牽引

19年3月期  
3Q実績

20年3月期  
3Q実績

(億円)



### 主たる増減要因

#### ■ ホームライフ (前年同期比 : $\Delta$ 5億円、計画進捗率 : 27%)

直売顧客軒数は、前期末より約1千軒増加し、552千軒。  
損益面は、LPガス輸入価格下落による在庫影響等により、減益。

#### ■ カーライフ (前年同期比 : $\Delta$ 1億円、計画進捗率 : 92%)

石油製品の販売数量は前年同期を下回る。損益面は、小売市況が堅調に推移し  
利幅確保、新車販売の利幅増加等があったものの、販売数量減少により、減益。

#### ■ 産業ビジネス (前年同期比 : $\Delta$ 1億円、計画進捗率 : 69%)

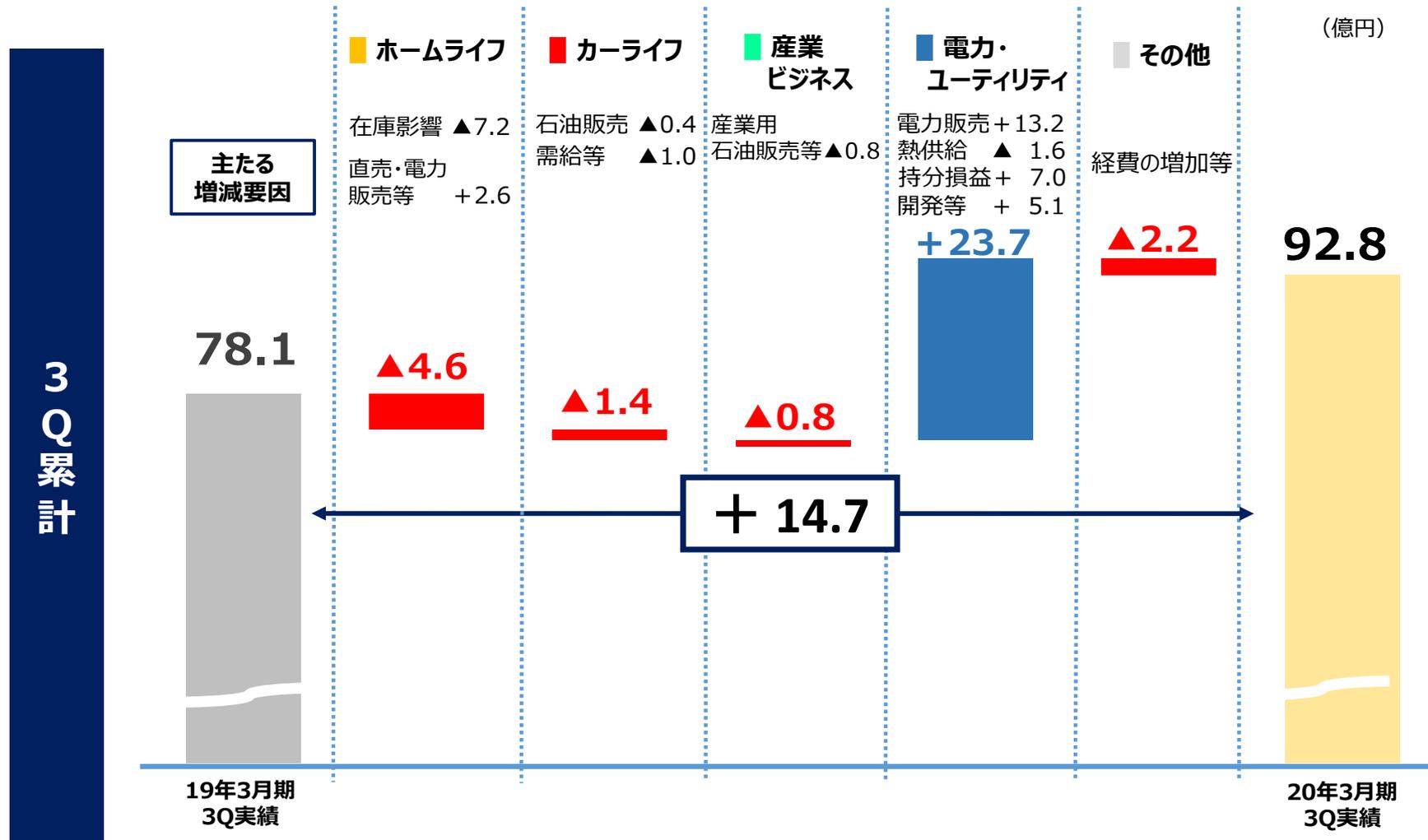
アスファルトや国内の船舶燃料の販売数量は、前年同期を上回るものの、  
産業用石油製品の販売数量減少により、減益。

#### ■ 電力・ユーティリティ (前年同期比 : +24億円、計画進捗率 : 103%)

小売電力販売量は前年同期を下回るものの、電力卸売市場の安定等により、利幅改善。  
また、持分法適用会社からの取込利益増加や開発案件等により、増益。

#### ■ その他 (前年同期比 : $\Delta$ 2億円、計画進捗率 : -%)

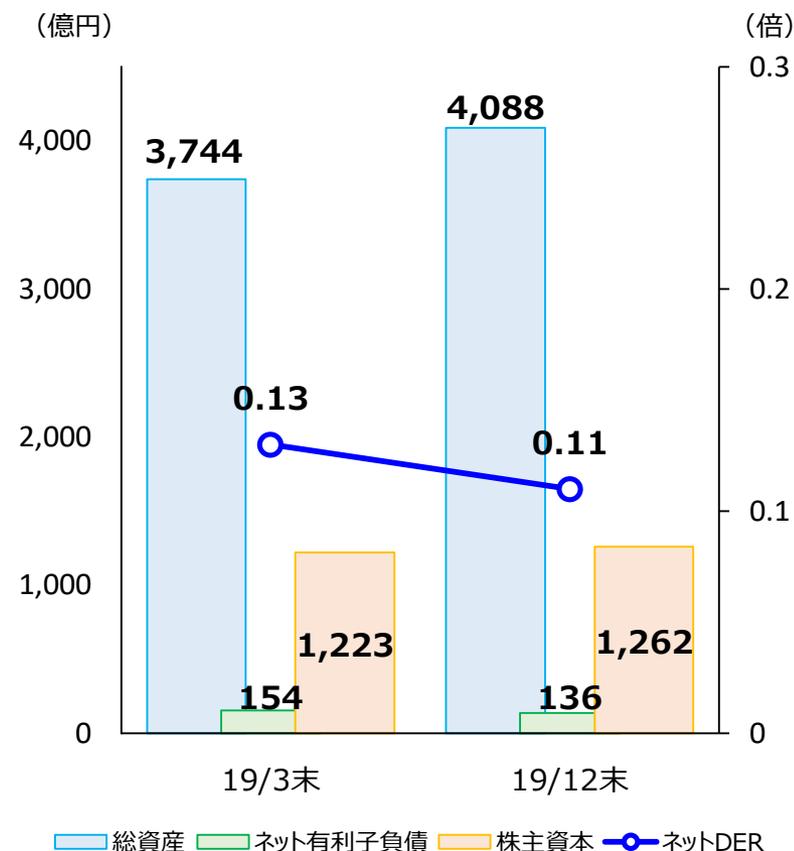
# セグメント別 当期純利益分析



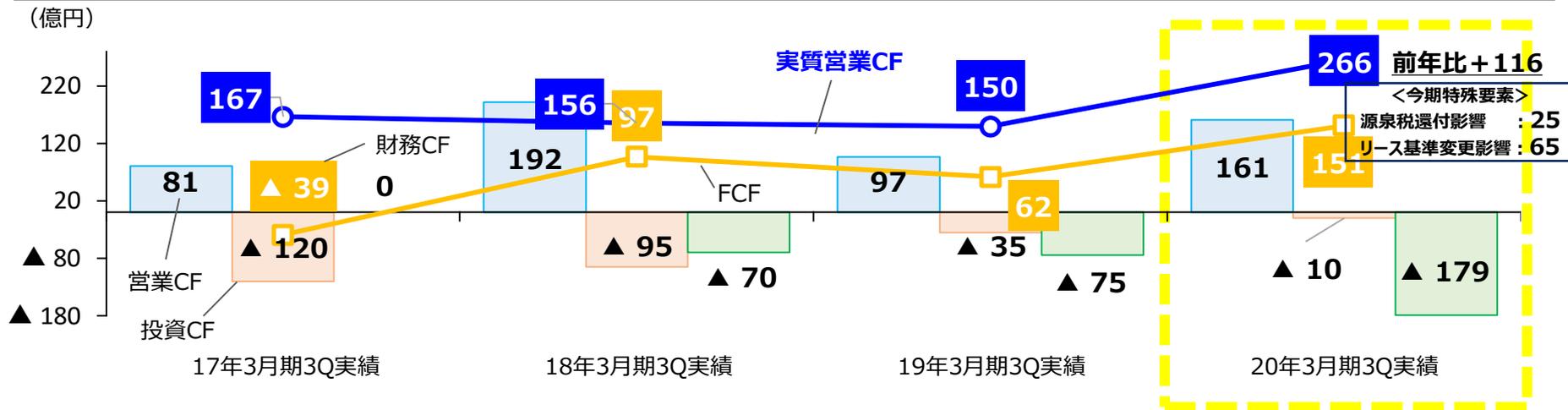
## 会計基準の変更によりリース資産増加

- **総資産**：IFRS第16号の適用等によりリース資産が増加し**4,000億円**を突破。
- **株主資本**：当期純利益の積上げ等により、前期末比**39億円**増加し**1,262億円**。
- **ネットDER**：有利子負債返済により減少。

	(億円)		
	19年3月末 実績	19年12月末 実績	増減
総資産	3,744	<b>4,088</b>	<b>+344</b>
ネット有利子負債	154	<b>136</b>	<b>△18</b>
株主資本	1,223	<b>1,262</b>	<b>+39</b>
株主資本比率	32.7%	<b>30.9%</b>	<b>△1.8pt</b>
ネットDER	0.13倍	<b>0.11倍</b>	<b>△0.02</b>



# キャッシュ・フロー 営業CF、実質CFともに前年を大きく上回る



キャッシュ・フロー	17年3月期 3Q実績	18年3月期 3Q実績	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	81	192	97	<b>161</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲120	▲95	▲35	▲10
(フリー・キャッシュ・フロー)	▲39	97	62	<b>151</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	▲70	▲75	▲179
<b>実質的なキャッシュ・フロー</b>				
実質営業キャッシュ・フロー (※)	167	156	150	<b>266</b>

(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」

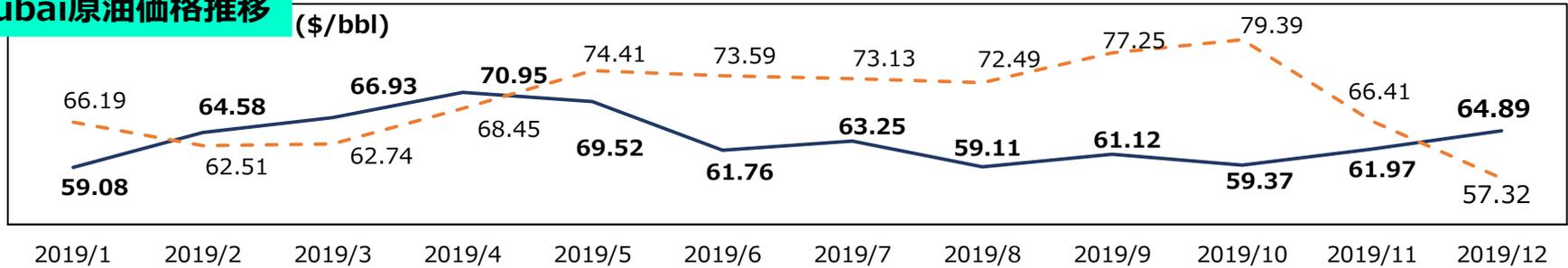
# (参考) 市場動向

## 原油価格は中東情勢や米中通商問題により不透明

実線：直近値 点線：前年同月

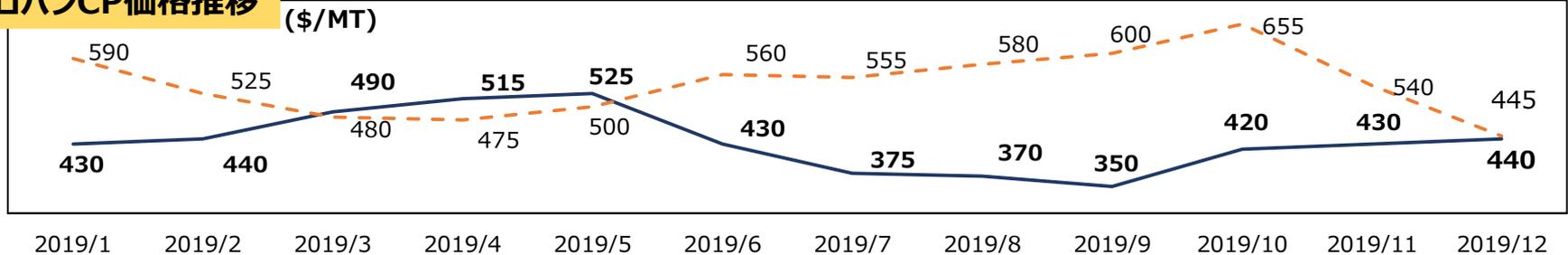
### Dubai原油価格推移

(\$/bbl)



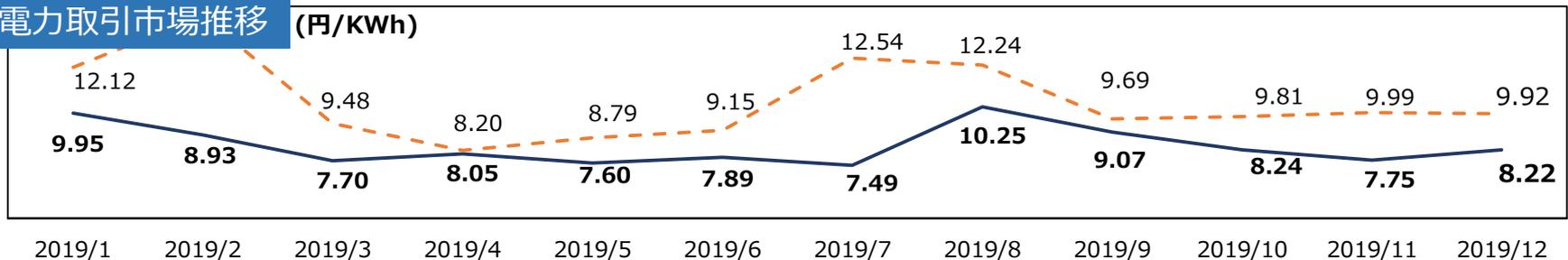
### プロパンCP価格推移

(\$/MT)



### 卸電力取引市場推移

(円/KWh)



## Ⅱ. セグメント情報



# セグメント別業績

(億円)

		19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減	増減率 %	20年3月期 通期計画	進捗率
■ 全社	売上収益	7,506	<b>6,711</b>	△795	△10.6	10,000	67%
	営業利益	133	<b>152</b>	+ 20	+14.7	165	92%
	当期純利益	78	<b>93</b>	+ 15	+18.8	118	79%
■ ホームライフ	売上収益	665	<b>600</b>	△ 65	△ 9.7	—	—
	営業利益	21	<b>12</b>	△ 8	△41.3	—	—
	当期純利益	13	<b>8</b>	△ 5	△36.6	30	27%
■ カーライフ	売上収益	4,660	<b>4,109</b>	△551	△11.8	—	—
	営業利益	64	<b>64</b>	+ 1	+ 0.8	—	—
	当期純利益	37	<b>35</b>	△ 1	△ 3.8	38	92%
■ 産業ビジネス	売上収益	1,504	<b>1,289</b>	△215	△14.3	—	—
	営業利益	20	<b>19</b>	△ 1	△ 5.4	—	—
	当期純利益	14	<b>13</b>	△ 1	△ 5.6	19	69%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	678	<b>714</b>	+ 36	+ 5.3	—	—
	営業利益	21	<b>52</b>	+ 31	+148.4	—	—
	当期純利益	10	<b>34</b>	+ 24	+236.8	33	103%

# ホームライフ部門

## LPガス輸入価格下落による在庫影響により、減益

	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	(億円)	
					20年3月期 通期計画	進捗率
売上総利益	160	<b>153</b>	△ 7	直売顧客軒数は、前期末より約1千軒増加し、552千軒。損益面は、LPガス輸入価格下落による在庫影響等により、減益。	30	27%
販管費	▲140	▲ <b>143</b>	△ 3			
営業利益	21	<b>12</b>	△ 8			
持分法損益	5	<b>3</b>	△ 2			
<b>当期純利益</b>	13	<b>8</b>	△ 5			

主な関係会社損益	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減
伊藤忠エネクスホームライフ西日本	5	4	△ 1
エコア（当社持分51%）	4	4	△ 0
エネアーク（当社持分50%）	3	4	+ 1

顧客軒数(千軒)	19年 3月末	19年 12月末	増減
LPガス直売軒数	551	552	+ 1
電力小売軒数	81	95	+ 14

販売数量	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減
LPガス(千トン)	394	369	△ 6%
産業用ガス(百万m <sup>3</sup> &千トン)	63	58	△ 7%
耐圧処理本数(千本)	241	245	+ 1%

# カーライフ部門

## 石油製品の販売数量減少により、減益

	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	20年3月期 通期計画	(億円) 進捗率
売上総利益	365	<b>363</b>	△ 1	石油製品の販売数量は前年同期を下回る。損益面は、小売市況が堅調に推移し利幅確保、新車販売の利幅増加等があったものの、販売数量減少により、減益。		
販管費	▲303	▲303	+ 1			
営業利益	64	<b>64</b>	+ 1			
持分法損益	1	<b>1</b>	+ 0			
<b>当期純利益</b>	37	<b>35</b>	△ 1			
					38	92%

主な関係会社損益	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減
エネクスフリート	10	11	+ 1
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	5	5	+ 0

販売数量	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減
ガソリン(千KL)	2,371	2,022	△15%
内訳) CS向け	1,562	1,505	△ 4%
その他	809	517	△36%
灯油(千KL)	538	490	△ 9%
軽油(千KL)	2,125	1,966	△ 8%
新車(千台)	21	19	△ 7%
中古車(千台)	18	18	△ 2%

# 産業ビジネス部門

## 産業用石油製品の販売数量減少により、減益

(億円)						
	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	20年3月期 通期計画	進捗率
売上総利益	41	<b>40</b>	△ 1	アスファルトや国内の船舶燃料の販売数量は、前年同期を上回るものの、産業用石油製品の販売数量減少により、減益。		
販管費	▲21	▲22	△ 1			
営業利益	20	<b>19</b>	△ 1			
持分法損益	0	<b>0</b>	△ 0			
<b>当期純利益</b>	14	<b>13</b>	△ 1			
					19	69%

販売数量	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減
ガソリン(千KL)	110	112	+ 2%
灯油(千KL)	150	140	△ 7%
軽油(千KL)	518	498	△ 4%
重油(千KL)	1,466	1,358	△ 7%
アスファルト(千t)	250	273	+ 9%

# 電力・ユーティリティ部門

## 利幅改善、取込利益増加、開発案件等により、増益

	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	20年3月期 通期計画	(億円) 進捗率
売上総利益	56	<b>81</b>	+ 25	小売電力販売量は前年同期を下回るものの、電力卸売市場の安定等により、利幅改善。また、持分法適用会社からの取込利益増加や開発案件等により、増益。	33	103%
販管費	▲34	▲ <b>36</b>	△ 1			
営業利益	21	<b>52</b>	+ 31			
持分法損益	3	<b>10</b>	+ 7			
<b>当期純利益</b>	10	<b>34</b>	+ 24			

主な関係会社損益	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減
エネクス電力グループ	4	6	+ 1
エネクスライフサービス	1	2	+ 1
東京都市サービス (当社持分66.6%)	10	9	△ 1
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	0	6	+ 5

販売数量	19年3月期 3Q実績	20年3月期 3Q実績	増減
電気小売(GWh)※	1,919	1,810	△ 6%
内訳)高圧販売※	1,747	1,502	△14%
低圧販売※	172	308	+ 79%
蒸気(千トン)	448	400	△11%
熱量(TJ)	1,051	1,000	△ 5%

(※速報値ベースでの算出)

問い合わせ先

**コーポレート・コミュニケーション室**

**担当：國貞、今泉、和田**

**【TEL】03-4233-8003      【FAX】03-4533-0102**

**【E-MAIL】enex\_irpr@itcenex.com**